

# 九十九自治協 通信 第3号

九十九地区自治協議会（九十九地区公民館内 Tel/FAX55-4525） 平成29年6月1日発行

平成28年5月に産声を上げた「九十九地区自治協議会」という新たな団体は設立間もなく「這い這い、から始まり伝え歩き、よちよち歩き」と時間と経験を経ていきました。九十九地区の10年後、20年後を見据え、今後、様々な活動を通じて地域の皆さんと深く、深く関わることとなります。平成29年度総会でも地区の皆さんに信頼され、地区をけん引し、地域自治に取り組むことが確認されました。これからも、本誌「九十九自治協通信」を通して皆様にお知らせをして参ります。

編集委員長 総務部会長 中里 義継

## 29年度自治協総会開催！

平成29年度自治協議会総会は5月22日（月）19時から地区公民館講堂で開催。

構成員84名中、74名（書面7名）の出席で会議は成立しました。



総会に提案したのは下記の通り3議案提案し可決承認をしました。

第1号議案 平成28年度事業報告及び収支決算報告について

第2号議案 平成29年度事業計画及び収支予算について

第3号議案 役員及び構成員の就任退任について

主な役員改選では設立時、会長の重責を担っていただいた石井武邦氏が退任。後任には湯浅修氏（俵ヶ浦町公民館長）が会長に就任。副会長に岩崎一憲氏が就任しました。石井武邦会長の退任挨拶では「自治協議会丸として船出をして早1年を過ぎました。新しい組織や仕組みで地域活動を盛り上げて行く団体として十分な実績

（裏面へ）

## 九十九地区自治協議会の充実した取り組みを皆さんと

九十九地区自治協議会会長 湯浅 修

九十九地区八ヶ町の皆様方には日頃かご理解とご協力に感謝申し上げます。



さて、九十九地区自治協議会の会長に就任をしました、俵ヶ浦町の湯浅修でございます。昨年5月に設立いたしました自治協議会も石井武邦前会長の尽力によりまして無事に一年を経過いたしました。その後を引き継ぎ会長就任要請がございましてお引受をした次第でございます。

将来的な少子高齢化や人口減少時代の到来を見据えたとき、地域住民が力を合わせて住む地域を発展させ「美しい九十九地区」を次代に引き継いでいくことが必要です。これからの時代に即した新たな仕組みを作り、新しくスタートした自治協議会は前例がありません、知恵と工夫を凝らし取り組んでまいります。九十九地区の皆さまと共により良い将来を築いていきたいと考えておりますので、皆さま方の更なるご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成29年6月1日

と成果を残しました。部会長が中心となり公民館まつりやグラウンドゴルフ大会など様々な催しを地域の皆さんと共に取り組み好評を得ています。“自治とは自らが自らを治めることです” 今後とも地域の発展にご尽力を願います。”と話しました。

### “会計監査から評価と労い”

第1号議案の28年度事業報告収支報告の後、監査報告がありました。その中で監査講評では。「手探りの1年ではあったものの会計や庶務その他事務局機能また、生涯学習部会を始めとする各部会の会長さんを中心に事務処理や企画、実施などまさに九十九地区がモデルとして市内に誇れる内容であったように思う」

また、「重大な課題が出てきたとき、地域の皆さんが一体になって課題を協議し解決に向けて行動していく、こうした能力がこの自治協議会には備わりつつあると実感している」との評価が示されました。

### “引き続き皆で力を合わせる構成に”

①総務部、②生涯学習部、③福祉推進部、

④防犯防災部、⑤青少年部、⑥保健環境部、⑦女性部のそれぞれに、皆でまちづくりに関わり、皆で取り組んでいくそれが自治協議会の大きな目標であると言えるでしょう。

### 部会役員が中心に意欲的に活動

29年度の理事会役員の方を改めてご紹介いたします。 ※敬称略です。

役員	氏名	役職
会長	湯浅 修	俵ヶ浦町公民館長
副会長	寺山 燎二	地区老人クラブ会長
	岩崎 一憲	船越中央町内会長
会計	河野 裕司	地区民児協会会長
理事	中里 義継	野崎町公民館長兼総務部会長
理事	民輪 覚	船越町公民館長
理事	中尾 學	石岳町内会長
理事	岩崎 孝人	下船越町小島町内会長
理事	丸田 民夫	生涯学習部会長
理事	大野 智浩	防犯防災部会長
理事	佐伯 公子	福祉推進部会長
理事	尾崎 嘉弘	名切町内会長兼青少年部会長
理事	大谷 政輝	庵浦町公民館長兼保健環境部会長
理事	末竹 勲子	女性部会長
理事	黒石 英二	事務局長

【九十九地区自治協議会組織構成図】

